

<算数>

問題文 3か所訂正

5 1行目 誤「容器 (A) と容器 (B) ～」

→ 正「底面が正方形の容器 (A) と容器 (B) ～」

6 (2) 誤「～米粒はおよそ～」

→ 正「～米粒の合計はおよそ～」

(3) 誤「～米粒はおよそ～」

→ 正「～米粒の合計はおよそ～」

算 数

(8・M・第1回A)

注 意

- 1 解答はすべて、解答用紙に記入してください。
- 2 問題は ① から ⑥ までです。
- 3 時間は 60 分です。
- 4 定規, コンパス, 分度器は使用しないでください。

1 次の計算をなさい。

(1) $12 - 12 \div 4 - 4$

(2) $100 - (36 \div 3 + 24 \div 6) \times 2$

(3) $4 \div (2.4 \times 0.5 + 4.8)$

(4) $5 \times 3 \div 1.5$

(5) $3.2 \times \frac{5}{2} + 1.6$

(6) $\left(\frac{3}{4} + \frac{5}{6}\right) \times \left(2 - 1\frac{2}{3}\right)$

(7) 1.25 時間 - 300 秒 = 分

2 次の問いに答えなさい。

(1) 50 から 100 までの数で、3 の倍数は何個ありますか。

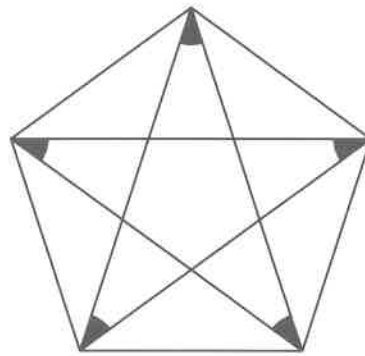
(2) 0 から 100 までの偶数の和と奇数の和はどちらがどれだけ大きいですか。次の解答例と同じように答えなさい。

解答例：偶数の和が 10 だけ大きい

(3) おばあさんは 1 階から 5 階まで階段で上るのに 5 分かかります。それと同じ速さで 1 階から 9 階まで上るときにかかる時間は何分ですか。

(4) 三郎さんは先月のおこづかいのうち、4 割の金額を貯金し、残りの金額の $\frac{3}{4}$ は友達と遊ぶために使いました。手元に残った金額は 510 円でした。三郎さんの先月のおこづかいはいくらでしたか。

(5) 下図のように正五角形があり、対角線を引きました。色のついた部分の角度の合計は何度になりますか。



(6) 6 種類のくだものから 2 種類のくだものを選ぶとき、その選び方は何通りありますか。

3 次の一郎さんと翔平さんの会話文を読んで、～に適する数や記号を答えなさい。

一郎さんと翔平さんは、習い事で参加している野球チームの選手 14 人におそろいのキーホルダーを買いに行く計画を立てています。

一郎「A 店も B 店も税込み価格で同じ 150 円だね。」

翔平「どっちのお店でもサービスしてくれるみたい。安く買うにはどっちで買うのがいいかな。」

一郎「A 店では合計金額の 3 割引きになるね。B 店だと 2 つ買うごとに 1 つプレゼントって書いてあるよ。」

翔平「無料でもらえるなら、B 店で買おうよ。」

一郎「1 回計算してみよう。A 店で 14 個買うと 円になるね。」

翔平「B 店で 14 個ほしいときは 円だよ。」

一郎「そうすると、店で買うのがよさそうだよ。」

翔平「待って、^{かんとく}監督にも買ってあげようよ。」

一郎「そうだね、15 個買うなら、店で買うほうが安く買えるね。」

翔平「ちゃんと計算してよかったよ、A 店で 15 個買うときと B 店で 15 個ほしいときで 円も変わるね。」

4 「しんぶんし (新聞紙)」や「たけやぶやけた (竹やぶ焼けた)」のように、前から読んでも後ろから読んでも同じになる言葉や文を回文と言います。同じく「61516」のように、前から読んでも後ろから読んでも同じになる数字を回文数と言います。回文数について、次の問いに答えなさい。

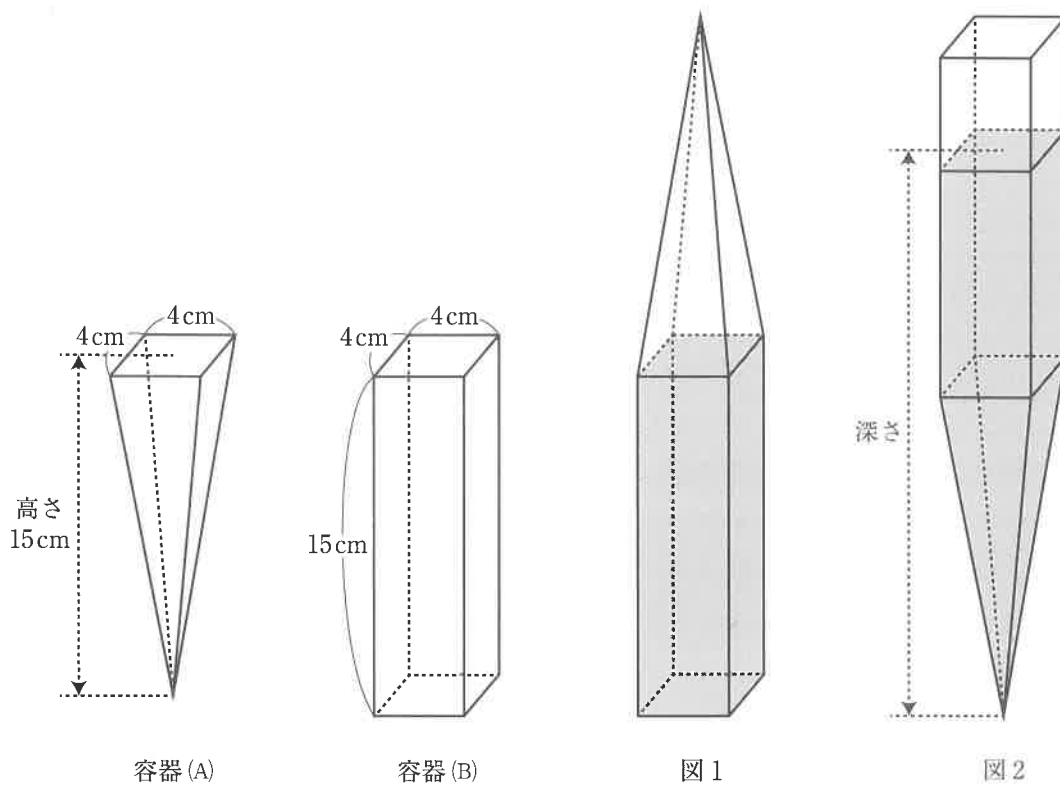
(1) 3けたの回文数は何個ありますか。

(2) 5けたの回文数で、5の倍数になるものは何個ありますか。

5 容器(A)と容器(B)があります。この2つの容器を図1のようにつなげてひとつの容器を作り、容器(B)の部分いっぱいに入れます。この容器を図2のように水面が水平になるように逆さにしたとき、次の問いに答えなさい。ただし、容器の厚さは考えないものとします。また、容器(A)に水をいっぱいに入れて容器(B)に3回入れると、容器(B)がいっぱいになります。

(1) 容器(A)の体積を求めなさい。

(2) 図2の容器に入っている水の深さを求めなさい。



- 6 時は安土桃山時代、天下統一を果たした豊臣秀吉にある男が仕えていました。男の名は曾呂利新左衛門と
いいます。実在したのかについても諸説ある人物ですが、豊臣秀吉と曾呂利新左衛門のユニークな逸話はたく
さん語り継がれています。

ある日、豊臣秀吉が「どんな褒美でもやろう」と言ったところ、曾呂利新左衛門はこう願い出ました。
「1日目には1粒、2日目には2粒、3日目には4粒…と、前の日の2倍の米粒をいただければ結構です。
これを30日間続けてください。」
豊臣秀吉は簡単な願いだと思い、うなずきました。

ところで、20日目に曾呂利新左衛門がもらう米粒は、およそ50万粒です。
20日目までに曾呂利新左衛門がもらう米粒の合計は、およそ100万粒です。

次の問いに答えなさい。ただし、100gの米粒は4400粒であるとします。

- (1) 曾呂利新左衛門が5日目にももらう米粒は何粒ですか。
- (2) 20日目までに曾呂利新左衛門がもらう米粒はおよそ何kgですか。小数第2位を四捨五入して、小数第1位まで答えなさい。
- (3) 曾呂利新左衛門が30日目までにももらう米粒はおよそ何kgですか。次のア～オのうちから1つ選びなさい。
ただし、必要に応じて、2を10回かけるとおよそ1000であることを用いてもよいです。
- ア 220kg
イ 2200kg
ウ 22000kg
エ 220000kg
オ 2200000kg

算数

(8・M・第1回A)

受験番号	得点
	※

解答用紙

※印のらんには記入しないこと

1	(1)	(2)	(3)	(4)
	(5)	(6)	(7)	
				分

2	(1)	(2)	(3)
	個	数の和が	だけ大きい
	(4)	(5)	(6)
	円		度

3	(1)	(2)	(3)
	円	円	店
	(4)	(5)	
	店	円	

4	(1)	(2)
	個	個

5	(1)	(2)
	cm ³	cm

6	(1)	(2)	(3)
	粒	kg	